

「資本コストや株価を意識した経営の 実現に向けた対応」に関する開示状況 (2024年3月末時点)

東京証券取引所 上場部

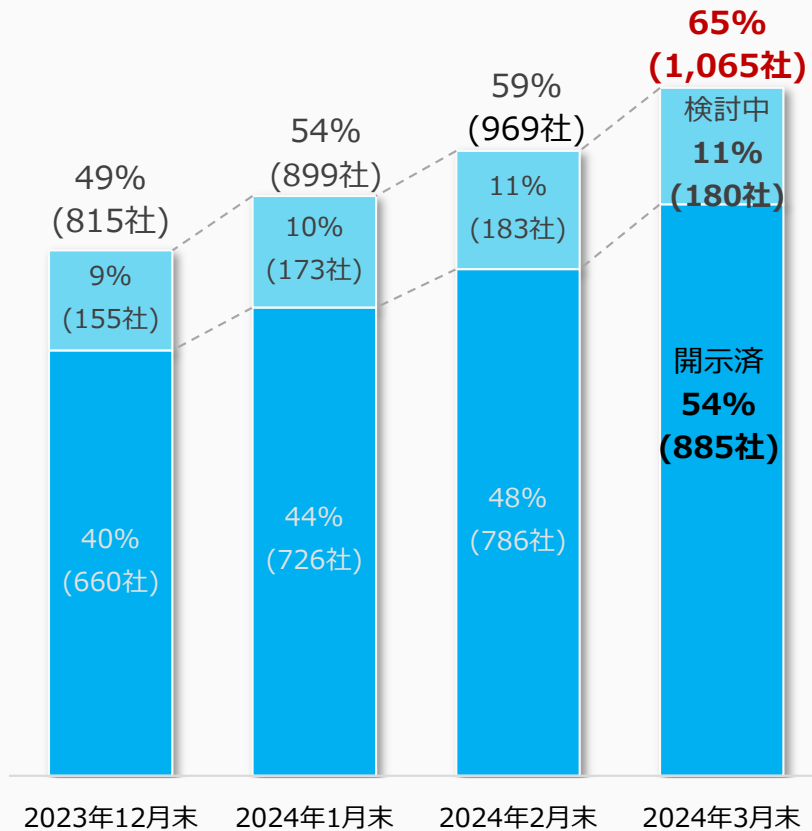
2024年4月15日



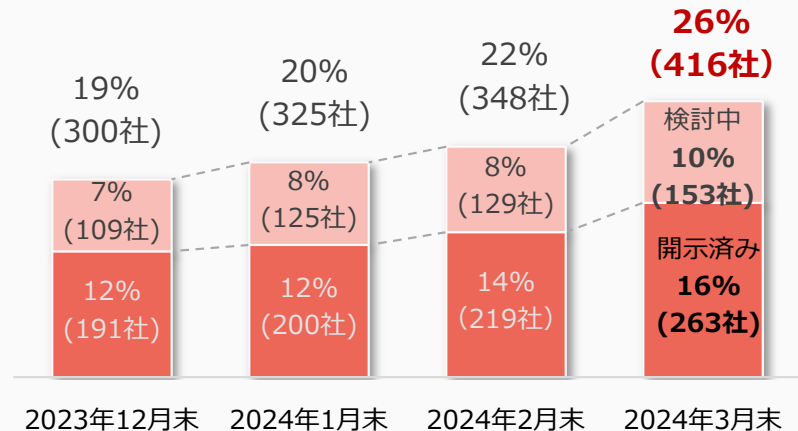
「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」に関する開示状況

- ◆ 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について、**2024年3月末時点で、プライム市場の65% (1,065社)、スタンダード市場の26% (416社) が開示** (検討中を含む)
 - 2023年12月末時点から、**プライム市場では+16pt (+250社)、スタンダード市場では+7pt (+116社)**

プライム市場 (n=1,650)



スタンダード市場 (n=1,607)



◆ 引き続きPBRが低い企業/時価総額が大きい企業ほど開示が進んでいる一方で、PBRが1倍以上の企業や、時価総額が相対的に小さい企業においても、開示に進展が見られている

注：（）内の数値は、2023年12月末時点からの変化

時価総額	PBR	
	1倍未満	1倍以上
1,000億円以上	89% (+11pt) 取組み開示：76% (+11pt) 検討中：13% (+1pt) n=275社 (-17社)	66% (+20pt) 取組み開示：59% (+18pt) 検討中：7% (+2pt) n=539社 (+57社)
250~1,000億円	71% (+12pt) 取組み開示：52% (+9pt) 検討中：18% (+4pt) n=306社 (-46社)	47% (+16pt) 取組み開示：39% (+16pt) 検討中：9% (+0pt) n=365社 (+35社)
250億円未満	53% (+16pt) 取組み開示：39% (+10pt) 検討中：15% (+6pt) n=75社 (-17社)	40% (+18pt) 取組み開示：34% (+18pt) 検討中：6% (+0pt) n=90社 (-18社)

- ◆ 東証では、より多くの企業に実効的な取組みの検討・開示を促していくため、以下の取組みを実施
 - 今後も、継続的に、企業の対応状況や投資家からのフィードバック等を把握（3月決算企業の対応状況に着目）し、必要に応じて追加的な施策を検討・実施していく

開示企業一覧表の公表

- ◆ 対応を進めている企業の状況を投資家に周知し、企業の取組みを後押しする観点から、要請に基づき開示している企業の一覧表を公表【2024年1月15日より公表開始、毎月更新予定】

対応のポイント・取組事例の公表

- ◆ 投資者の視点を踏まえた対応のポイントや、投資者の支持が得られた取組みの事例について、企業の規模や状況に応じていくつかのパターンを取りまとめ、公表【2024年2月1日に公表】

対応状況の集計・周知

- ◆ 企業の開示状況や投資家等からのフィードバック等を概ね四半期ごとに集計【2024年1月15日より公表開始】

上場会社への再周知

- ◆ 上場会社からよく問い合わせをいただく対応・開示の留意点、一覧表の掲載ルール等について、プライム市場・スタンダード市場の全上場会社に周知【2024年3月29日に実施】

※ そのほか、中長期的な企業価値向上に向けた各社の取組みの検討をサポートするため、専任のグループ（上場会社サポートグループ）を2024年1月に設置

※ 上記の各種資料・データはウェブサイトページ（<https://www.jpx.co.jp/equities/follow-up/02.html>）にまとめて掲載